

2026 年度 総合型選抜（9月募集）【課題型（プレゼンテーション）：GAP選抜】
国際文化学部 国際文化学科 英語文化コース

1. プレゼンテーション課題

2025年度の指定されたオープンキャンパスで実施される英語文化コースの「GAPの授業を体験しよう！“Music Miscommunication”」に参加し、そこで示される英文レポートのテーマに基づき、自身の体験をもとにMicrosoft PowerPointを使って5分間のプレゼンテーションを行ってください。発表内容には、講義で紹介されたアイデアを反映させるとともに、英文レポートの課題説明で示された要素をすべて含めてください。

2. 実施要領および諸注意

（1）プレゼンテーションの要約を**指定書式（A4）**に記載してください。作成した要約シート1部を、他の出願書類と一緒に出願時に提出してください（指定書式は所定のサイトよりダウンロードしてください）。要約シートは英語でも日本語でも構いません。

（2）プレゼンテーションの持ち時間は5分間です。その後、プレゼンテーションに関する質疑応答（Q&A）を英語と日本語で行います（全体で約15～20分を予定）。

（3）プレゼンテーションの時に持ち込めるのは、「要約シート」と、Microsoft PowerPoint の電子データを保存した「記録媒体（USB メモリ）」と「そのデータをプリントアウトしたもの」のみです。それ以外のもの（読み上げ用の原稿、PC・タブレット・スマートフォンなどの電子機器、その他）は一切持ち込みを認めません。

（4）「要約シート」と「そのデータをプリントアウトしたもの」を、試験当日に自分用に1部持参してください。

（5）試験日当日は、試験員の指示に従って、PC に記録媒体を接続し、Microsoft PowerPoint のデータを開いてください。横浜会場ではプロジェクターでスクリーンに画面を映し、全国会場では画面共有してください。PC・プロジェクター・スクリーンは大学で用意します。なお、万が一電子データが開けなかった場合は、要約シートおよび電子データをプリントアウトしたものにもとづいてプレゼンテーションを行ってください。

（6）プレゼンテーションは、原則として、横浜会場ではPC のそばに立った状態で、全国会場ではPC の前で行います。ただし、体調などに特別な事情がある場合には考慮しますので、試験開始時に審査員に申し出てください。

（7）プレゼンテーションは、事前に十分準備をしてください。調べたことを整理し、分析して、自分の考えをまとめた上で、要約シートの作成に取り組みましょう。プレゼンテーション資料の作成にあたっては、プレゼンテーションの内容が聞き手に効果的に伝わるように、文字を大きく書く、図や写真も用いながら要点を明確にするなどの工夫をしてください。また、作成した要約シートやMicrosoft PowerPoint の資料をどう利用するかを考えながら、実際に声に出して、プレゼンテーションの事前練習をすることも大切です。

3. 評価の視点

アイデアの独自性、調査や経験を踏まえた具体性と実現性、プレゼンテーション資料の効果、表現の正確さ、声の大きさやトーンなどを含む発表態度を総合的に評価します。

【指定書式の有無、作成方法】

指定書式の有無	☒ 有（ ダウンロードリンク ） ☐ 無
課題の成果物 作成方法	☒ ワードプロソフトのみ ☐ 手書きのみ ☐ どちらでも可

【出願時に提出するもの】

提出物の有無、提出方法	☒ 有（ 要約シート ） 用紙サイズ： <u>A4 片面</u> 部数： <u>1</u> ☐ 無
-------------	--

【試験当日に持参するもの】

（要否欄： 必：必ず持参するもの ○：持参して使用が可能なもの ✕：使用が不可なもの —：該当なし）

内容	要否	詳細・その他備考
①課題に関する成果物 (要約シート及び課題で取り組んだパワーポイント等をプリントアウトしたもの)	必	自分用:1部 用紙サイズ: A4
②USB メモリの持参	必	指定されたファイル形式の資料（電子ファイル）のみを入れたもの。 ファイル名は「KGU_26 課題」とすること。 ※USB メモリ（タイプA）の中は発表に使用するファイルを 1つだけ保存すること。複数のファイルに分割したり、発表に不要なファイルを保存したりしないこと。

【その他】

プレゼンテーションの際、 パワーポイント発表者ツールの使用可否 (発表でパワーポイントを使用する場合のみ)	使用不可
プレゼンテーション実施にあたり 大学側が準備するもの	プロジェクター、PC

※大学で用意するPCのOSはWindows10、ソフトはoffice2019が使用可能です。

※「出願時に提出したものと同じものを試験当日に持参すること」となっている場合、出願後に、作成した資料内容の変更は行わないでください。

※準備する資料の形式、条件等の詳細は「2. 実施要領および諸注意」も参照してください。

※課題の中で許可されているもの以外は、試験時間中に使用することはできません。